

専門研修プログラム名	若草病院	専門研修プログラム
基幹施設名	社会医療法人如月会若草病院	
プログラム統括責任者	水野 謙太郎	

専門研修プログラムの概要	本プログラムの基幹施設である若草病院は、宮崎県中心部における中核的な精神科病院であり、同時に唯一の民間の精神科救急病院でもある。卒後臨床研修病院として長年にわたり、精神医学教育・研修の役割を担ってきた。クロザピン使用症例及びm-ECT施行症例は多数である。また「一人ひとりの生活に最適な支援を提供する」という理念のもとに、早くより「入院から在宅への復帰」を支援してきた。連携施設である宮崎大学医学部附属病院精神科や弘潤会野崎病院でも身体合併症や認知症の診療を学ぶ。経験豊富な指導医が専攻医に対して手厚くきめ細かな指導をおこない、精神科医としての基本的な倫理観や患者及び患者家族への思い、豊富な実績をもとにした地域医療のありかた、疾病に対する学問的な態度の習得を支援する。	
	1年目は基幹施設である若草病院で精神科診療の基礎を学ぶ。指導医の診療や臨床心理士のカウンセリングに陪席、m-ECTに参加、デイケアの回診等をおこなう。また、1年目から2年目にわたり若草病院で、児童・思春期の精神障害に関する診療及びアルコールや薬物等の依存症診療の経験を積む。同時に地域で生活する精神障害者のための様々なサービスに参加し、理解を深める。2年目は連携施設である宮崎大学医学部附属病院精神科で幅広い精神疾患に加えて、身体合併症の診療も経験する。3年目は認知症疾患医療センターである弘潤会野崎病院で、認知症の診療を多数経験する。いずれの研修中も週に1度は基幹施設である若草病院のドクターカンファレンスや多職種カンファレンスに参加して知見を深める。	
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	専攻医研修マニュアルに基づき、主要な精神疾患の診断や治療について知識を深め、精神科特有の治療技法を学び、精神を病む人々の尊厳を大切にする態度を養成する。1年目は若草病院で精神科診療の基礎を学ぶ。1年目から2年目にかけて若草病院で児童・思春期の精神障害診療及びアルコールや薬物等の依存症診療の経験を積む。2年目は宮崎大学医学部附属病院精神科で精神疾患の身体合併症診療を経験する。3年目は弘潤会野崎病院で認知症の診療を経験する。
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	症例検討会（ドクターカンファレンス）、病棟や事業所での多職種カンファレンスに参加し、それぞれの症例を深く理解する。同時に、社会的視点も含めた多面的な知識、技能を習得する。
	学問的姿勢	患者との関りから見えてくる様々な問題を、積極的に解決する糸口を探る姿勢。学会発表や学術誌への投稿。院内蔵書やオンライン文献検索の積極的利用。
	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	患者の人権を尊重し、患者との良好な関係、チーム医療、安全管理、守秘義務を守る立場にある医師としての社会性や倫理性等を習得する。

施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	1年目は若草病院で精神科診療の基礎を学ぶ。同時に地域で生活する精神障害者のための様々なサービスに参加し、理解を深める。2年目は宮崎大学医学部付属病院精神科で幅広い精神疾患に加えて身体合併症の診療も経験する。3年目は野崎病院で認知症の診療を多数経験する。
	研修施設群と研修プログラム	2年目及び3年目に県内の連携施設でそれぞれ1年間の研修をおこなう。
	地域医療について	若草病院及び連携施設はいずれも地域に密接に根差した精神科医療を提供しており、行政や福祉、他の施設との連携を学ぶことができる。
専門研修の評価	研修年度の3か月ごとにプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認する。6か月ごとに研修目標の達成度を専攻医と各研修施設の指導責任者が評価する。医師以外の職種による評価も必ずおこなう。総括的評価は研修プログラム委員会がおこなう。	
修了判定	各研修施設の指導からの評価を得て、総合的に判定し、プログラム統括責任者から通知される。	
専門研修管理委員会	専門研修プログラム管理委員会の業務	年に複数回連携会議を開き、専攻医の健康状態の確認、研修目標の達成状況の評価、プログラムの修正等を継続的に実行する。
	専攻医の就業環境	各施設の労務管理基準及び「医師の働き方改革」に準拠する。
	専門研修プログラムの改善	研修施設群内における連携会議を定期的に行い、問題点の抽出と改善を適宜おこなう。専攻医からの意見や評価を研修プログラム管理委員会で検討し、プログラムの改善をおこなう。
	専攻医の採用と修了	基幹病院の統括責任者と診療部長が面接をおこない、結果に基づいて厳正な審査のうえ、採用及び修了の適否を判断する。
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	特定の理由のために専門研修の継続が困難な場合は、専門研修管理委員会への申し出により、適宜、プログラムの中断、移動、プログラム外の研修等について協議し配慮することが可能である。
	研修に対するサイトビジット（訪問調査）	研修に対するサイトビジットを受け、研修プログラムの改善に努める。専門研修プログラムに合致しているか、専門研修プログラム申請書の内容に合致しているか審査を受ける。

専門研修指導医 最大で10名までにしてください。 主な情報として医師名、所属、役職を記述してください。	若草病院：水野謙太郎（理事長・院長）、水野学（診療部長）、水野恵三子 宮崎大学医学部付属病院精神科：平野羊嗣（教授）、舟橋英樹（講師）、古郷央一郎（助教）、大平洋明（助教） 野崎病院：石田康（院長）、川添哲志、吉村清太
Subspecialty領域との連続性	若草病院には日本精神科救急学会認定医制度指導医が在籍している。